

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
28年 第5号	28.12.1	<p>父母の教育費負担を軽減し、子どもたちにゆきとどいた教育を求める私学助成に関する請願</p> <p>【請願趣旨】</p> <p>現在、茨城県では、高校生の3割、幼稚園児の7割が私立学校で学ぶなど、私学は公教育の場として大きな役割を果たしている。</p> <p>2010年度から国公立高校の無償化とともに私学への就学支援金が実施され、保護者の負担は軽減した。その政策効果は文部科学省の調査でも明らかになっている。</p> <p>しかし、保護者負担という点では茨城県は全国的に見れば相当に負担が大きい県である。2015年度の私立高校の学費は県平均で授業料316,750円、施設費295,888円、入学金190,625円となっている。入学時の負担は全国平均を8万円以上も上回り、2年目以降にかかる学費も茨城は全国平均を6万円以上も上回っている。学費負担は特に低所得層にとって重く、「所得が低ければ私学で学べない」ということは生徒から学校を選ぶ権利を奪うことになる。今なお私学の生徒と保護者は高い学費負担、公私間格差を強いられている。また、各都道府県の授業料軽減制度の差により、施設整備費を含む学費負担の自治体間格差も存在している。こうした実態を改善するためにも就学支援制度のさらなる拡充が求められている。</p> <p>未来を担う子どもたちのために教育予算を大幅に増額し、私学に通う生徒・保護者の学費負担を軽くし、私学教育本来の良さを一層発揮するための教育条件の維持・向上を図るために、私立高校生への就学支援と私学への経常費助成の大幅な拡充が強く求められる所である。</p> <p>以上の立場から以下の事項について請願する。</p>	私学助成をすすめる茨城県連絡会議 横須賀 健二 外 20, 125 名	山 中 たい子 上 野 高 志 江 尻 加 那	総務企画	不採択

記

- 1 私学への経常費助成を増額すること。特に県単独補助金について、高校・幼稚園に対し増額するとともに、小・中学校に対して創設をすること。
- 2 学費の滞納や経済的理由による退学者を出さないように授業料軽減制度を大幅に拡充し、学校負担分をなくすこと。